

茅ヶ崎商工会議所経営発達支援計画（平成 30 年度）に基づく事業評価会議 結果について

開催日時：令和元年度 6 月 24 日（月）10 時～11 時 15 分

開催場所：茅ヶ崎商工会議所 2 階 第 2 会議室

当所経営発達支援計画に基づき、平成 30 年度分の結果について、地域の状況を把握している内部委員（3 名）及び外部有識者（3 名）による、事業の評価会議を開催し、実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行った。

事業の評価については、推進状況、内容、成果を基準に以下のランクによって評価した。

- A 目標を十分達成している（100%以上）
- B 目標を概ね達成している（80～99%）
- C 目標を半分程度しか達成できていない（30～79%）
- D 目標を殆ど達成できていない（30%未満）

また、各個別から各項目の総合評価を付ける。

各委員の総合評価は点数化し、全体評価を付ける。

- A 4 点
- B 3 点
- C 2 点
- D 1 点

評価結果

1. 地域の経済動向調査に関すること

全体評価	A
委員評価	A 計画通りに経済動向調査がなされ、事業者支援のために有効に活用しているため A 評価とする。
	A 引き続き、地域情報の収集と公表を積極的に推進していただきたい。公表にあたってはすでに行っているグラフ化などビジュアル的に分かりやすい形で行っていただくよう、引き続き工夫をお願いします。
	B 景気動向調査については回収率の工場が見られ、有用なデータが得られたと捉えられるため A としました。一方で、(2) 組合・団体との意見交換会を活用した地域経済動向の把握、(4) 湘南信用金庫との意見交換については、成果がやや不明瞭である点から、(3) 事業機会となる情報の提供については、データの随時更新が不十分と捉えられる点から B とし、総合評価は加重平均で B としました。

2. 経営状況の分析に関すること

全体評価	B
委員評価	B 経営状況の分析に関することは、経営指導員による経営状況の分析を筆頭に、専門家を活用した分析、フィードバック等が概ね目標を達成しているため B 評価とする。
	B 事業者との対話の機会を捉え、相手先の強み・弱みを把握し効果的なアドバイスを行って行っていただきたい。専門性の高い分野については、専門家との連携を図りながら、引き続き、対応をお願いいたします。
	B (1) 経営指導員による経営状況の分析、(2) フィードバック、(3) 課題解決策の提案については、目標件数未達のため、B としました。(4) 経営指導員会議については通年で行われてはいなかったものの、属人化、暗黙知化しやすい指導実績やノウハウの共有を図ったという点で A とし、総合評価は加重平均で B としました。

3. 事業計画策定支援に関すること

全体評価	A
委員評価	A 既存事業者向け、創業者向けの事業計画策定支援件数は双方とも目標値を大幅に上回っているため A 評価とする。
	A 事業計画及び創業計画の策定については、目標を大幅に上回る実績を残せている。セミナーについては周知方法の工夫により、参加者の拡大を目指していただきたい。
	B (1) 既存事業者向け支援、(2) 創業者向け支援、ともに計画の策定件数は目標を大きく上回っていますが、セミナーの参加者数や根本的な策定件数の多寡を見ると、やや少ないとも受け取れるため B としました。然るべきタイミングで目標の見直しも含め再検討が必要なのではないかと感じました。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

全体評価	B
委員評価	B 事業計画策定件数とフォローアップの件数について若干分かりづらい内容となっている。フォローアップも事業者の支援ニーズに基づいたもので成果を上げているものと判断して B 評価とする。
	A 計画を策定するのみではなく、その後のフォローアップまでしっかり行っていただくことで、今後の計画策定支援などの際のノウハウが蓄積されます。多忙の中、フォローアップまで行うことは大変とは思いますが、引き続き取り組みをお願いします。
	B (1) 担当制によるフォローアップについては策定件数、フォロー回数ともに大幅に伸ばしていることから A としました。(2) 組織的なフォローアップ、(3) 専門家によるフォローアップ、(4) 創業者支援、(5) 各種支援機関・行政との連携については目標値を超えている箇所もあるものの、内容的には更なる充実を図るべき項目と捉え B 評価とさせていただきます。

5. 需要動向調査に関すること

全体評価	B
委員評価	A 経営指導員がJ-net21やResas等のデータを事業者に提供していることや商圈検索ソフトを導入し、最適な出店地域を事業者にアドバイスしているなど、本当に役立つ支援がなされている。
	B 前年度に比べ、取り組みが大幅に進んでいます。需要動向は事業者にとって必要な分野で、事業計画策定の内容にも関わってくるのでタイムリーな分析結果の公表と併せ今後も推進をお願いします。
	B 目標値に近い成果が上がっている項目はあるものの、どのような情報を提供したのかやや不透明な印象を受けます。また、調査結果については、何らかの形で公表をした方が良いのではないかと感じます。併せて、情報提供については、「こんな情報が貰える」という情報発信が重要なのではないかと考えます。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

全体評価	A
委員評価	A ちがさき産業フェア、湘南ひらつかテクノフェア、きぎょう情報交換会等々、地域での新規顧客開拓に結びつけている点は大いに評価できる。また、事業者に対する啓蒙活動を行われている点は評価できる。
	A 多くのイベントを活用し、中小企業者の需要開拓への寄与が出来ている。引き続き、参加者の増加を図りつつ、イベント内容のブラッシュアップを進めていただきたい。
	A どの項目においても活動的に取り組んでいることが見受けられ、一定の成果が上がっていることから総合 A としました。一方で良い取り組みを市内事業者にどのように広く周知するかは課題と感じました。

7. 地域の活性化に資する取り組み

全体評価	A
委員評価	A 茅ヶ崎ブランドイメージ向上を目的とした地域連携体制の構築や各イベントにおける地域活性化に資する取り組みは商工業の発展に大きく寄与しているものと考ええる。
	A 地元茅ヶ崎のPRに向け、各イベントともに引き続き力をいれていただきたい。
	A どの催事も街のにぎわいと活性化に寄与していると考えられるため、総合 A としました。但し、規模の拡大によるマナー問題や収益化の難しさから補助金依存を脱却できない運営体制等は今後再検討すべきと考えます。

8. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

全体評価	A
委員評価	A 他の支援機関との連携も積極的に行っており、評価できる。外部の勉強会等に積極的に参加し、指導員の中で情報共有を行っている。組織全体の底上げに努めており、評価できる。
	A 多忙とは思いますが、引き続き各研修に積極的に参加し、また各機関と連携を図りながら今後も経営発達支援計画を推進していただきたい。今後とも積極的な情報交換をお願いします。
	B (1) 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関することについては、外部との連携事業等の実績がやや少なく感じられ、実態がやや不透明と考えるため、B としました。(3) 事業の評価及び見直しをするための取組みにかんすることについては年一回の評価だけでなく、中間または四半期毎評価が理想的と考え B としました。(2) 経営指導員等の資質向上等に関することについては活動的な内容が見てとれたため A としました。